



# いぞおり

豊田南小学校 学校だより  
令和4年度 第8号  
令和4年7月22日  
文責 教頭(大場)



## 【1学期終業式 校長先生の話】

4月7日にスタートした1学期も今日で終了します。今日まで授業日数は72日を数えました。今、代表の友達が「1学期に頑張ったこと」を発表してくれました。自分の立てた「めあて」に向かって、一生懸命頑張り、それぞれ充実した学校生活が行え、成長した様子がとてもよく伝わってきました。みなさんの72日間はどうかだったでしょうか。

ポプラっ子のみなさんは今日、通信票をもらいます。そこには1学期の学習や生活について、担任の先生が見つけたみなさんの「よさ」がたくさん表れています。自分の「よさ」どんなことなのか、楽しみにしてください。そして、これからも意識して、その「よさ」を伸ばしていってほしいと思います。とはいえ、通信票では表せないみなさん一人一人の72日間はきっとあったことでしょう。



通信票をもらう前に、まずは自分で1学期を振り返ってみてください。

1つ目は、豊田南小の合言葉「自分から」がどれだけできたかということです。授業、運動、挨拶・会釈、係の仕事、そうじ、整とん、思いやり・助け合い…。これらのものをいくつ、真剣に、あるいは進んで、精一杯「自分から」ができましたか。

2つ目は、頑張っているようになった「楽しい」がどれだけあったかということです。1学期の始業式に校長先生はみなさんに、【頑張って、練習して、失敗して、努力して、できるようになってようやく感じる「楽しさ」をいっぱい味わってください】とお話しました。1学期に味わうことはできましたか。

校長先生は、ポプラっ子が一生懸命学び、いろいろな経験を通して、「へえ、なるほど」「わかった」「やったあ」と瞳をきらきらと輝かせている場面を何回も見ました。授業って、なぜかな、とか、不思議だなんて思えるとどんどん楽しくなりますね。このように楽しんで授業に取り組んでいるポプラっ子をたくさん見ることができ、うれしい1学期でした。



さて、校長先生も、今、不思議で不思議でたまらないことがあります。それは、この前、1mくらい離れた木と木の間にかかっている蜘蛛の巣を見た時のことです。空を飛べない蜘蛛が、どうやって最初の1本を張るのかと不思議に思ったのです。そこで、最初の糸の張り方を自分なりにいくつか考えてみました。1つ目は、「地面を歩く方法」です。1本の木にいた蜘蛛が地面まで降り、地面を歩いて隣の木に上がっていく方法です。2つ目は「ジャンプする方法」です。空は飛べなくても、ジャンプすれば隣の木まで行くことができるのではないかと考えました。そして3つ目。3つ目は、「振り子のようにゆらして移る方法」です。蜘蛛の糸の端を木に貼り付け、そこから糸を伸ばし、振り子のようにして隣の木に移る方法です。この3つのうちどれかなあ。それとももっと別の方法かな。これが、校長先生の不思議で不思議でたまらないことです。

みなさんはどれだと思いましたか。

校長先生は、自分で調べたり、だれか詳しくそうな人に聞いたりして、答えを見つけたいと思っています。みなさんも、不思議でたまらないことを見つけて調べてみましょう。

さあ、明日から34日間の夏休みに入ります。毎日の暮らしの中で、いろんなことを見て、聞いて、試して、感じて、考えてみましょう。夏休みの間にできるようになったこと、分かったこと、解決した不思議があったら、担任の先生や校長先生に教えてくださいね。

最後になりましたが、夏休みはものすごく暑い日が続きます。熱中症が心配です。冷房の効かせ過ぎにも気をつけないといけません。新型コロナウイルス感染予防にも注意が必要です。夏休みも病気の予防やけがの防止に心がけ、2学期の始業式では、ポプラっ子全員が元気な姿を見せてくれることを、心から願っています。



磐田市立豊田南小学校 校長 速水 徹

### 【お知らせ】

- 1 学校の様子は、ホームページにも掲載しています。

<https://toyodaminami-e.city-iwata.ed.jp/>

- 2 新型コロナウイルス感染症関係

夏休み期間中、本人および家族が感染者となった、もしくは、感染の可能性が生じたという場合は、平日(月～金) 学校 0538-32-5273 まで連絡してください。

